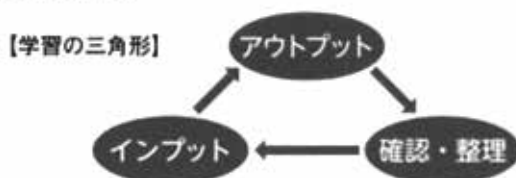


## はじめに

本書は初版発行以来、累計でおよそ37万冊以上が受験生に利用されてきましたが、このたび全面的に改訂することになりました。この全面改訂版は、カンボジアで暮らしながら執筆しております。編者の私は、カンボジアに住むようになってクメール語の勉強を始めました。また、20歳の時はイスラエルで1年間ヘブライ語を勉強しました。新たな外国語を勉強し始めて今も昔も痛感させられることは、①繰り返すこと ②あきらめないこと ③得意の方法で身につけること の重要さです。「得意の方法で身につける」とは、聞いて覚えるのが得意な人は音声で、見て覚えるのが得意な人は文字で学習することです。私は目で見て覚えるのが得意なので、クメール文字を覚えると同時に、単語をカードに書き出して何度もチェックしています。すぐに覚えられるものもあれば、何回繰り返しても忘れてしまうものもあります。それで挫折しそうになるときもありますが、「ここでやめたら元の本阿弥だ」と思い直して、また挑戦します。

ところで、何かを学んで身につけたいというときには「学習の三角形」を意識すると役に立ちます。



つまり、何かを学習しようとするときは、まず「インプット」をします。何か新しいことを覚えるわけです。しかし、皆さんの場合はこれまでの英語学習でかなりの単語や文法知識などはすでに「インプット」ずみのはずです。この「インプット」してきたことを、問題を通して確認することが「アウトプット」です。本書はこの「アウトプット」を行うための問題集です。アウトプットを行うことによって、何を間違えるか、何を覚えていないか、何を勘違いしていたかなどのことを発見するわけです。その結果に基づいて「確認・整理」の作業をやります。本書ではこの「確認・整理」も十分できるように解説を書くことを心がけました。あやふやな点などを確認・整理することが、新たな、よりハイレベルの「インプット」へと導いてくれるはずですよ。

大学の入学試験や民間の英語能力試験でも四択問題が出題されることがあります。ところがこの形式が苦手な人は少なくありません。その理由は、「学習の三角形」のどれかが不十分だからと考えられます。勉強は十分しているはずなのに問題を解くと間違ってしまう、などといった経験はないでしょうか。それは「アウトプット」を十分やっぴこなかったからだけなのです。こんな文法規則なんて見たことも聞いたこともないという人は「インプット」が十分でない人です。というようなわけで、「学習の三角形」を意識して本書を最後までやり通してください。

諸君の健闘を祈っています。

2020年3月吉日

編者記す

## 目次

本書を学習する上での注意点	5
文法用語&表記について	5
<b>第1章</b> 重要動詞の意味と語法	6
<b>第2章</b> 頻出する2語動詞・3語動詞など	8
<b>第3章</b> 動詞とその後に来る名詞(相当表現)	14
<b>第4章</b> 動詞と共に使われる前置詞	20
<b>第5章</b> 動詞や前置詞の後に続くさまざまな形	24
<b>第6章</b> 仮定法と直説法、助動詞・時制	32
<b>第7章</b> 形容詞の後に続く前置詞や準動詞	36
<b>第8章</b> 代名詞と形容詞(句)、副詞(句)	40
<b>第9章</b> さまざまな名詞(相当表現)	44
<b>第10章</b> 形容詞(句)・副詞(句)など	48
<b>第11章</b> 比較級および比較を含む表現のさまざま	52
<b>第12章</b> 関係詞と接続詞	56
<b>第13章</b> 前置詞と関係詞・疑問詞	62
<b>第14章</b> 前置詞とそれに続く名詞(相当表現)	64

## 第1章 重要動詞の意味と語法

問題 次の問いの  ~  に入れるのに最も適当なものを、それぞれ下の①~④のうちから一つずつ選べ。 標準解答時間 4分

問1 The President is to  on television this evening.

- ① speak      ② express      ③ say      ④ tell

問2 A: What did Bill do?

B: He  asleep all morning.

- ① laid      ② lain      ③ lay      ④ lies

問3 You look tired. Don't you  taking a short rest?

- ① like to      ② prefer to      ③ fond of      ④ feel like

問4 A: I think I left the car windows open.

B: Don't , I closed them.

- ① think      ② leave      ③ worry      ④ be sorry

問5 I want to see your parents immediately. Now call them and tell them I'm .

- ① getting      ② advancing      ③ going      ④ coming

問6 A: How is the onion soup?

B: Oh, it . I like it.

- ① tastes good      ② is tasting good  
③ tastes well      ④ is tasting well

問7 The horizon is an imaginary line. It doesn't really .

- ① happen      ② exist      ③ rise      ④ be

## 第1章 重要動詞の意味と語法

### 問1 ①

**訳** 大統領は今晩テレビで演説することになっています。

**POINT** speak 「演説する」

**解説**

- 空所の直後には on television が来ているので、空所には、目的語を必要としない動詞（つまり、自動詞）が入るはず。となれば、①speak しか正解になりえない。
- ②express、③say、④tell のどれも普通は目的語が必要である。しかし、仮にそのことがはっきり分かっていなくても、speak が「演説する」という意味の自動詞で使えることを知っていればこの問題は解けるだろう。
- 自動詞の speak 「演説する」を含む例：

**【例】** The Queen speaks to the nation on television every Christmas.

「女王は毎年クリスマスにテレビで国民に向かって演説をする。」

名詞の speech が「話すこと・スピーチ・演説・言語」などの意味になることを念頭に置くとよい。

### 問2 ③

**訳** A：ビルは何をしたの。

B：午前中ずっと寝ていました。

**POINT** lie asleep 「寝ている」(lie 「横になる」)

**解説**

- 空所の後に asleep がある。これは形容詞なので目的語になれない。それゆえ、目的語を取る他動詞ではなく、自動詞を空所に入れればよいことになる。
- He was asleep. ならば、「彼は寝ていた」となる。自動詞であるこの be-動詞の was の代わりに使える自動詞の lay (lie の過去形) が正解になる。「横になる」という意味の自動詞 lie の活用変化は、lie-lay-lain-lying であるから、正解は③lay ということになる。
- 自動詞の lie を用いた場合と、be-動詞を用いた次の例を参考してみるとよい。この2語は、本問のような英文では、文法的にも意味的にもほぼ同じである。

**【例1】** The river lies 30 km to the south.

The river is 30 km to the south. 「その川は30キロ南にある。」

**【例2】** The town lay in ruins.

The town was in ruins. 「その町は廃墟になっていた。」

- lay は他動詞で、その活用変化は、lay-laid-laid-laying なので、自動詞 lie